

# 就活で差が付く！産経新聞データベース活用術

法人・団体用

就活に役立つ連載をまとめ読み！（検索ワード：『就活リサーチ』）

検索結果が一覧で表示できます。読みたい見出しをクリック！

見出しをクリックすると、記事本文のテキストが表示されます。見出しと同一画面で記事が開くため、スクロールするだけで次の見出しに移ることができます。

複数記事を同時に開くことも、記事ごとに別画面表示することもできます。

切り抜き画像タブをクリックすると、紙面イメージで記事が表示されます。テキスト表示でも切り抜き画像表示でも印刷が可能です。

人物名やイベント名、気になる時事用語を検索してみるのもおすすめです。「新商品」「制定」「締結」「発表」など、思いついた単語で検索していくだけで社会の動きをおさらいできます。もう時事問題は怖くありません！

お申し込み・お問い合わせ

産経新聞社 販売局 デジタル部  
[TEL] 0120-200-188 ※平日 10:00 ~ 18:00 (土日祝祭日、年末年始は除く)  
[FAX] 03-3243-8450  
[Email] denshi\_otoiawase@sankei.co.jp

# 産経電子版

## 産経新聞データベースのご案内



産経新聞社は、『産経電子版』の企業・団体向けサービスとして  
『産経新聞データベース』をリリースいたしました。

## 産経新聞データベース

産経新聞データベースは、ブラウザ上で産経新聞の過去記事を検索・閲覧できるサービスです。産経新聞データベースには<sup>\*</sup>1992年9月以降の記事テキストが蓄積されており、2014年1月以降の東京朝刊と大阪夕刊の切り抜きイメージも表示できます。

従来の新聞データベースサービスは、検索した記事ごとに別ウィンドウで表示するものが一般的でした。これに対して産経新聞データベースでは、検索結果を表示した見出し一覧の中で、位置を変えずに記事を開くことができます。

これにより、同じ記事を繰り返し開いてしまう誤操作を格段に減らすことができ、操作性が大きく向上しました。

\*1992年9月7日から現在までの東京朝夕刊（ただし夕刊は2002年3月30日まで）、および1998年12月15日から現在までの大阪朝夕刊。



## 基本料金

同時アクセス数	年額(税別)
3	288,000円

※上記以外のアクセス数でのお申し込みの場合は、別途ご相談ください。

※ご購読契約は、請求書による決済（原則1年契約）にて承っております。

※産経新聞の紙面もご覧いただけます。

※産経新聞データベースはブラウザでのご利用となります。

産経電子版アプリではご利用いただけません。

## ミニコラム「就活と新聞」

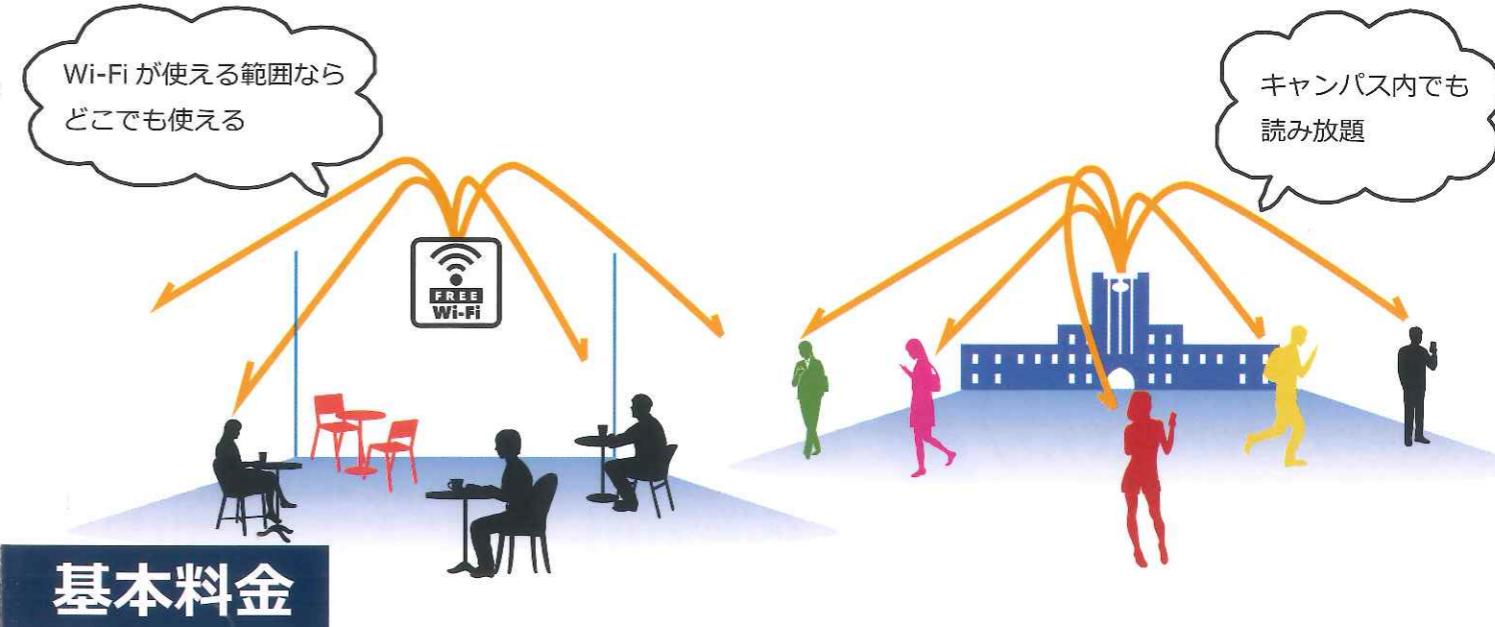
### 一新聞を読む習慣は就活力のアップにつながります

株式会社マイナビが企業の人事担当にアンケート調査を行ったところ、就職活動をする大学生に向けて企業の人事担当者の85%が新聞を読むことを勧めています。その理由として、「一般的な時事知識の取得」「社会への興味関心の幅を広げる」「読解力・文章力の向上」などが挙げられています。

産経電子版は『産経新聞』『サンケイスポーツ』『夕刊フジ』をPC・スマホ・タブレットでお読みいただけるサービスです。

## 産経電子版 エリア限定読み放題プラン

LANやWi-Fiを公開提供している法人・団体さまにお薦めなのが産経電子版の『エリア限定読み放題プラン』です。当該施設に来場された方がその場にいる限り、館内端末あるいはお手持ちのPC・スマホ・タブレット端末で産経電子版が読み放題になるサービスです。サービス拡充の一環としてぜひご導入ください。



同時アクセス数	年額(税別)
300	300,000円

※上記以外のアクセス数でのお申し込みの場合は、別途ご相談ください。

※ご購読契約は、請求書による決済（原則1年契約）にて承っております。

※ID・パスワード認証とIPアドレス認証をお選びいただけます。

## ミニコラム「なぜ産経新聞なのか」

### —英研究所の調査で裏付けられた信頼性—

英オックスフォード大学ロイター・ジャーナリズム研究所の『Digital NEWS REPORT 2018』によると、産経新聞は日本のメディアの信頼度で全国紙5紙の中で3位。同調査での「All those that use this brand（実際にそのメディアを使ってみた人）」からの評価では、一般紙として1位でした。さらに、テレビなどを交えた日本の全メディアの中でも3位となっています。読んでみて満足度が高い新聞、それが産経新聞だと言える調査結果です。

就職活動は、学生が社会人へと成長するための大切な通過点です。社会に目を向け、自身の視野を広げていくこの時期だからこそ、信頼に足るメディアが求められています。

この機会にぜひ、産経新聞に触れてみませんか。